

# 特別活動（ホームルーム活動）学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇曜日）第〇校時 1 年〇組教室 指導者 T 1 〇〇 〇〇  
T 2 〇〇 〇〇

1 単元名 進路について考えよう 一目標達成に向けて頑張ったことをお互いに認め合おう

## 2 考察

### (1) 生徒の実態及び指導方針

本クラスは、生徒6名で編成されている。軽度の知的障害に加え、注意欠陥多動症や自閉スペクトラム症の傾向のある生徒がいる。そのため、音声言語だけでなくスライド資料等を用いた視覚的指示も併せながら、それぞれの生徒に対して個別に支援をしていく必要がある。

生徒たちは高等部に入学し、将来の自分の生活や仕事のことについて考え始めたばかりで、日々の学校生活や作業学習、就労支援員の話聞くこと等を通して、社会人としての心構えをこれから身に付けようとしている段階である。将来の自分の姿を具体的に思い描き、その実現に向けて今何をするべきか、ということ考えた経験はまだ少ない。そうした経験を積み重ね、自分の今後の生活に見通しをもつことは、本クラスの生徒たちにとって大きな課題となっている。

本題材に関わる生徒の個別の実態は以下の通りである。（省略）

### <指導方針>

- ・活動内容が理解しやすくなるように、スライド資料を活用して生徒に合わせて視覚支援を行う。なお、赤緑色覚異常のある生徒が視覚からの情報を得やすくなるように、色使いやコントラスト等に配慮する。
- ・将来の自己実現への意欲を高めたり、自己肯定感を得たりできるように、それぞれの生徒のできたことや頑張ったことを自己実現に向けてのスモールステップの積み重ねと捉え、「〇〇までできましたね」、「□□だったので△△ができましたね」等と、生徒が自分なりに頑張った姿を具体的に称賛する。
- ・間違いを恐れず、落ち着いた気持ちで前向きに活動に取り組めるように、「間違っても大丈夫ですよ」「よくできていますよ」等と、本人の頑張りを尊重した受容的な言葉掛けをする。
- ・活動に集中できるように、必要のない物は片付ける等、教室の環境を整理する。

## 3 研究との関わり

知的障害特別支援学校高等部において、「将来こう在りたい自分」と「今の自分」をつなげるためのキャリア教育の実現を目指して、自己実現に向けた「自分らしさ発見シート」の中でキャリア発達上の課題を「見える化」し、生徒が学習への納得感と見通しを獲得できるようにする。そのことによって、「今の自分」をよりよくしようという意欲をもって生徒が学習に取り組めるようにすることの有効性を明らかにしたいと考えた。そこで、特別活動（ホームルーム活動）の「進路について考えよう」という単元において、「自分らしさ発見シート」で設定した取組内容をどこまで実践できたか振り返り、自己実現に向けて頑張ったことをクラスの友達と認め合う活動を設定した。そうすることで、「自分らしさ発見シート」を活用することを通して、前時に獲得した学習への納得感と見通しを維持し、将来の自己実現に向けて生徒が学校や家庭、地域生活の中で継続的に生かそうとする姿が見られたか検証する。

#### 4 本時の展開

##### (1) ねらい

<全体>

- ・自己実現に向けて学校生活、家庭生活等の中で実践できたことを振り返る。

【自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現】

- ・自己実現に向けて頑張っていた姿をクラスの友達と互いに認め合うことを通して、「今の自分」をよりよくしようという意欲を高める。

【主体的に自分らしさを発見し、将来に生かそうとする態度】

<全体のねらいを達成するための個別のねらい（自立活動の指導との関連より）>

- A ・ワークシートを手掛かりに、自分から進んで活動に取り組む。
- B ・自分が話す場面と相手の話を聞く場面の切り替えを意識して活動に取り組む。
- C ・クラスの友達からの評価を受けて、自己肯定感を高める。
- D ・必要に応じて質問や相談をしながら、ワークシートに記入する。
- E ・ワークシートに記入した内容を、相手に伝わる大きさの声で発表する。
- F ・その場に相応しい言葉遣いで、ワークシートに記入した内容を発表する。

##### (2) 準備 ワークシートⅡ（第2時～第3時間の宿題ワークシート）、ワークシートⅢ、前時に作成した「自分らしさ発見シート」、スライド資料

##### (3) 展開

| 学習活動<br>予想される生徒の反応  | 時間  | ・指導上の留意点及び支援<br>☆自立活動の指導と関わる支援<br>(◎研究の検証に関わる支援<br>◇研究の検証に関わる評価基準)  |
|---|-----|---|
| 1 「自分らしさ発見シート」を用いて、前時の学習を振り返る。<br><予想される生徒の反応><br>「自分は〇〇の時に□□をしようと考えていたな」 等                         | 3分  | ・前時の学習の内容を思い出せるように、「自分らしさ発見シート」でどのような取組内容を設定したか確認するよう促す。  |
| 2 本時のめあてをつかむ。<br>【めあて】<br>「自分が立てた目標をどこまで達成できたか振り返ろう」  | 1分  | ☆本時のめあての内容が分かるように、めあてを示した部分に注目するよう促す。(全員)   |
| 3 ワークシートⅢの「①選んだカードが今どの位置にあるか、確認してみよう」の活動に取り組む。<br><予想される生徒の反応><br>「今はこの位置にカードを置けるな」<br>「□□を頑張ったな」 等 | 4分  | ◎生徒がそれぞれの自己実現に向けた取組を思い出せるように、「前の時間から今日までの間に頑張ったことを思い出しながら、カードの位置を確認しましょう」と言葉を掛ける。<br>◇これまでの自分の学習や生活を振り返って、根拠をもってカードの位置の変化を確認している。 |
| 4 ワークシートⅢの「②自分の思った位置にカードを置くためにできたことやもう少しでできそうなことを書こう」の部分に記入する。<br><予想される生徒の反応><br>「〇〇の場面で□□ができた」    | 10分 | ☆落ち着いた気持ちで安心して記入できるように、書く内容に間違いということはないということ、まずは自分なりの表現で書いてみるのが大切ということ伝える。(全員)<br>☆集中して活動に取り組めるように、よい姿勢を保持して、丁寧な字でワークシートⅢに記入するよ   |

|   |  |
|---|--|
| <p>「◇◇はもう少しでできそうだな」等</p>  |  |
| <p>5 ワークシートⅡを用いて、クラスの友達が見つけた「目標達成に向けて頑張っていたこと」を聞く時間を順番に一人ずつ設け、お互いの頑張りを認め合う。</p> <p>＜予想される生徒の反応＞</p> <p>「〇〇さんにこんな風に言われて嬉しい」</p> <p>「自分の頑張りをを見ていてくれたのだな」等</p> | <p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が見付けてくれた自分の頑張る姿が分かりやすくなるように、発表の内容を記録して黒板に掲示していく。【T2】</li> <li>・前時からの時間の中でワークシートⅡが記入し切れていなかったら、友達の頑張っていた姿を思い出してその場でもワークシートⅡに記入できるように、教室に掲示された友達の「自分らしさ発見シート」を確認しに行ってもよいことを伝える。</li> </ul> <p>☆自分が話す時間と相手の話を聞く時間を切り替えることを意識できるように、「発表をするときの注意点」のスライドを示し、話し合う時のルールを確認する。(B)</p> <p>☆話し合うのに相応しい言葉遣いが分かるように、よい例と悪い例をロールプレイで示したり、友達の発表の仕方を参考にしよう伝えたりする。(F)</p> <p>☆どのくらいの声の大きさを発表すればよいか分かるように、発表する声の大きさの手本を示したり、友達の発表の様子を参考にしよう伝えたりする。(E)</p> <p>☆どの部分を発表すればよいか分かるように、読む部分を指差しや言葉で示す。(D)</p> <p>◎発表を通して生徒がお互いに自己肯定感を高められるように、「〇〇を頑張れたのですね」「気付いた〇〇さんも素晴らしいですね」と、共感的な言葉掛けをし、その都度称賛する。</p> |
| <p>6 ワークシートⅢの「③自分でも気付かなかった「友達が見つけてくれた自分の頑張りを」を書こう」の部分に記入する。</p> <p>＜予想される生徒の反応＞</p> <p>「自分はこんなことを頑張っていたのだな」</p> <p>「自分で思っていたより、頑張っていたのだな」等</p>              | <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことに悩んでいる様子が見られたら、「記録した内容を見てみましょう」と言葉をかけ、黒板に掲示された発表の内容を参考にしよう促す。</li> </ul> <p>◇ワークシートⅢの記述の中に、友達の発表内容が反映されている。</p>  |

|  |  |
|--|--|
| <p>7 記入した内容をクラスで発表する。<br/>         &lt;予想される生徒の反応&gt;<br/>         「声の大きさや聞く態度に気を付けて発表しよう」<br/>         「この位の声の大きさだったら相手に伝わるだろうか」等</p>   | <p>8 分</p> <p>☆発表をする時と聞く時の相応しい態度が視覚的に分かりやすくなるように、「発表をするときの注意点」のスライドを示して、声の大きさや姿勢について説明する。(全員)</p> <p>☆記入した内容を自信をもって発表できるように、声の大きさや発表の態度等、よかった所を具体的に挙げて称賛する。(C、E)</p>   |
| <p>8 「自分らしさ発見シート」の内容を一人一人振り返り、社会人一日目にどのような自分になっていたいか、そのためにどのような取組内容を設定したか、今の学習が将来にどのように繋がるか、もう一度確認する。<br/>         &lt;予想される生徒の反応&gt;<br/>         「一緒に働く人とコミュニケーションがうまくとれるようになるために、これからの作業学習では挨拶、返事を大きな声でできるようにしよう」<br/>         「社会人一日目に〇〇になっているために、□□を頑張る必要があるのだな」等</p> | <p>9 分</p> <p>・本時の学習内容を「自分らしさ発見シート」に記入した内容を踏まえて振り返れるように、一人一人の「自分らしさ発見シート」をスライドで示す。</p> <p>【T2】</p> <p>◎今後の学習を自己実現につなげようという意欲を高められるように、それぞれの生徒が頑張っていた姿を称賛しながら、「〇〇のために□□をこれからは頑張れるとよいですね」等と言葉を掛ける。</p> <p>◇教員の言葉掛けを受けて、「□□を頑張ります」と発言したり、頷き等で「頑張ろう」と思っている気持ちを表現したりしている。</p> |

#### (4) 板書計画

|  |  |  |
|--|--|--|
| 友達が見付けてくれた生徒の頑張っていた姿や、生徒がワークシートに記入した内容を模造紙等へ書き写して掲示する。 |  |  |
|  |  |  |

※生徒の座席順と対応させて、T2が模造紙等を黒板に貼っていく。

(5) スライド資料



